

日本女子大学総合研究所課題81公開講演会

女優たちのイギリス女性参政権運動 —女優参政権同盟の活動を中心に—

日時:10月7日(土) 午後13時30分~16時30分

場所:日本女子大学目白キャンパス 新泉山館2F 教室(新泉201)

開会挨拶 13:30~13:35 代表 坂井妙子(国際文化学部教授)

発表 1 13:35~14:15 佐藤恭子研究員(岩手県立大学盛岡短期大学部准教授)

「女性の地位と労働—フェミニズム運動における女優ポーリーヌ・サヴァリの貢献と活動の位置付け」

要旨:1902年第1回婦人工芸国際博覧会を主催し、レースや、写本、縫製品など「女性たちによる女性たちのための」展示を行った女優ポーリーヌ・サヴァリの考える女性の労働、および労働組合について取り上げ、フランスフェミニズム運動における位置づけを検討する。

発表 2 14:20~15:00 川端康雄研究員(日本女子大学文学部名誉教授)

「刺繍・社会主義・フェミニズム—メイ・モリスの仕事をめぐる」

要旨:ウィリアム・モリスの次女メイ(メアリ)についてアーツ・アンド・クラフツ運動のなかでの刺繍作家としての実践、父親に連帯しての政治運動、父の死後の著作集編纂のことなどを扱う。佐藤繭香先生のご講演との関連ではメイ・モリスが1880年代に社会主義団体のアジプロ演劇の公演で主役を演じたエピソードなども取り上げたい。

講演 15:10~16:10 佐藤繭香先生 (武蔵大学人文学部教授)

「女優たちのイギリス女性参政権運動 —女優参政権同盟の活動を中心に」

プロフィール:津田塾大学大学院、博士(文学)、University of York, MA,

専門:イギリス近現代ジェンダー史

著書:『イギリス女性参政権運動とプロパガンダ:エドワード朝の視覚的表象と女性像』
彩流社、2017年1月、

『欲張りな女たち—近現代イギリス女性史論集』共編著、彩流社、2013年1月 他
論文:「政治を演じる:イギリス女性参政権運動における女優参政権同盟の役割」

麗澤大学紀要91号、2010年12月

「20世紀女性参政権運動におけるアーツ・アンド・クラフツ運動の影響」

デザイン史学 2014年8月 他多数

質疑応答16:10~16:30

研究課題81:19世紀後半から第二次世界大戦までの演劇界における女性の自立
—日本、イギリス、フランスの比較

問合せ先:国際文化学科 坂井妙子 03-5981-7627(個人研究室)

研究員 佐々井啓 sasai@fc.jwu.ac.jp